



訪問日 2025年7月 3日(木) 11:00~12:20

訪問先 キッズタウン かみごとう・第2保育園・からふる

米子市両三柳1400

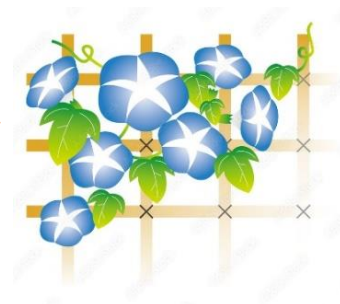
出席者 【委員】 田平 敏雄、名越 光義、福谷 武彦、三島 峰子

【よなごエリア】 川端 紀子 (キッズタウンかみごとう 園長)

森安佐徳子 (キッズタウン第2保育園 園長)

白土 恵美 (キッズタウンからふる 管理者)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)



今回は、2002年4月に開園した「キッズタウンかみごとう」を訪問しました。隣接地には、法人本部があるアザレアコートやグループホームかみごとう、よなご幸朋苑などが建ち並んでいます。2004年4月に「キッズタウン第2保育園」、2021年4月には「児童発達支援事業所・キッズタウンからふる」が開園し、機能が異なる事業所が共存しながら地域のニーズに応じています。





荒井監事：本日は、開園20年が経過し、地域に必要不可欠な施設となった「キッズタウンかみごとう」を見学していただきます。園長から施設概要と現況の説明をお願いします。

川端園長：キッズタウンかみごとうは、2002年4月に認可保育園として開園しました。2015年4月からは、**幼保連携型認定こども園**に移行し運営しています。2歳から修学前を対象に**104名**が通園しています。園内には、地域子育て支援センターも配置していますが、すでにキッズタウンへの入園希望が届いています。「児童発達支援事業所からふる」を併用して利用する園児が5名います。園内は様々な機能を持つ施設が配置され、多職種の職員で運営しています。人員不足が深刻化していますが、切磋琢磨しながらより充実した保育を目指したいと考えています。

森安園長：第2保育園は、1歳児27名、0歳児9名が通園しており、温かい保育を心掛けています。近年では、新しい取り組みを実施しており、保護者の希望に合わせた**個人参観日**だけではなく、**7月7日**には保護者参加型の「夏祭り」を計画しています。個人懇談会では、子ども達の成長を伝え、子育ての悩みを共有したいと考えています。また、あたり前としてきた保育を振り返ることで、一人一人の思いや発達に寄り添い豊かな保育を進めていきます。



白土管理者：「からふる」は、2021年4月に開園した**児童発達支援事業所**です。1日の定員は10名で、現在34名が登録されています。対象者は、米子市内が中心ですが、境港市や安来市、南部町からの利用もあります。幼稚園や保育園を利用しながら通っていただいています。それぞれの個性や特性、可能性を引き出すような支援をしています。言語聴覚士や公認心理師、作業療法士なども配置していますので専門的な観点から子どもたちの成長をサポートしています。

荒井監事：園内を見学していただきましたので、お気づきのことがあればご意見ををお願いします。

田平委員：1階廊下に、今日の献立表がありましたが、文字が小さく読みにくく感じました。

川端園長：保護者には、毎月献立表を送っていますが、文字の大きさについては検討します。

三島委員：からふるの登録者は34名ですが、プランを毎月作成するのは大変ですね。

白土管理者：一人一人の子どもの発達や様子に応じて、支援の計画を立てています。

福谷委員：米子市内の児童発達支援事業所は、他にありませんか。境港市などからの利用もあるようですが、現況を教えてください。

白土管理者：米子市内では他にもあります。境港市の場合、10名以下の小集団での事業所がありません。言語聴覚士、公認心理師などが在籍しており、専門性の高い支援が受けられるということで選ばれていると思います。



福谷委員：私は、児童発達支援事業所を見学するのは初めてです。発達障害については、かなり勉強しないと行けないと聞いています。保育園に限らず、小学校でも対応を重要視されていますが、専門的な知識を持つ人の拡充が必要だと思っています。

名越委員：発達障害児の対応は大変だと思いますが、何人の先生が配置されていますか。

白土管理者：一日の定員は10名ですが、利用者は毎日変わります。日々6～7名のスタッフが対応しています。食べることや手先の動作などの基本的な動きから、生活習慣・コミュニケーション力を身につけられるよう指導しています。

名越委員：発達障害は、いつごろから分かるものですか。

白土管理者：定期的な健診で、発達の様子から気づかれることが多いです。0歳から修学前までを対象としていますが、2歳頃から利用されるケースが多いです。

名越委員：肢体不自由児は、対象外ですか。

白土管理者：他の専門施設になります。

名越委員：園児数が多く、遊び道具や本が乱雑になるものですが、どこを見てもゴミひとつなく、きちんと整理されており、とても感心しました。

三島委員：園児の皆さんは昼食中でしたが、園児と保育士の割合はどの程度ですか。

川端園長：年齢に応じて異なりますが、少なくとも5名に1名の保育士を配置しています。

田平委員：男性が配置されていましたが、正職員ですか。

川端園長：保育士の国家資格を有した職員です。

三島委員：高校生のボランティアを見かけました。

川端園長：近年、各高校はボランティアでの経験を推奨しています。

三島委員：保育士の仕事に関心を持っていただき、就職に繋がるといいですね。



③





荒井監事：最近のニュースでは、毎日のようにプールなど水による事故が報道されています。園として留意していることをお話しください。

川端園長：水泳に関するガイドラインがあり、それに沿って対応しています。全体を常に俯瞰して監視する職員を配置しています。できる限り多くの職員を配置し、徹底して監視をするようにしています。年齢に応じてプールの形態、水量を変えています。

森安園長：水の事故もですが、熱中症対策としてプールの概念を変えて考えています。第2保育園は、日よけを施し、霧状のミストやシャワーで汗を流すようにしました。また、小さなボールに水を入れ、水遊び用の玩具やボールで遊ぶなど短時間でも子ども達が楽しく安全に遊べるよう職員間で徹底しています。

福谷委員：キッズタウンが開園した当初は、24時間対応の保育園だったと思います。その後、認定こども園に移行したと思います。

川端園長：そのとおりです。時代の変化やニーズに応じて変化してきました。

福谷委員：少子化が進み、子どもの数は減少の一途を辿っているのに、こうほうえんが運営するキッズタウンは、定員を超える入園希望者があります。地域から保育の質が高いことが認められているからだと思っています。人員不足の中、職員の皆さんはモチベーションを保つことは大変だと思いますが、頑張ってくださいようお願いします。

川端園長：長く運営していくには、職員一人ひとりの努力の積み重ねだと思っています。「キッズタウンは、いつ見てもきれいにしているね。」「職員が頑張っているね。」という声をいただくたびに、職員に感謝しています。

福谷委員：昼食についても、子どもの年齢や成長度合に応じて、時間帯を変えて提供されていました。保育計画に基づき、細かな対応がなされていることを感じ取りました。

三島委員：0歳児から就学前までの園児に対し、的確な保育がなされていると思いました。

④

川端園長：委員の皆さん、本日は忌憚のないご意見をいただき有難うございました。今後の運営に反映していきます。

荒井監事：次回は、**8月7日（木）14：00～**
グループホームはたがさき を予定しています。

